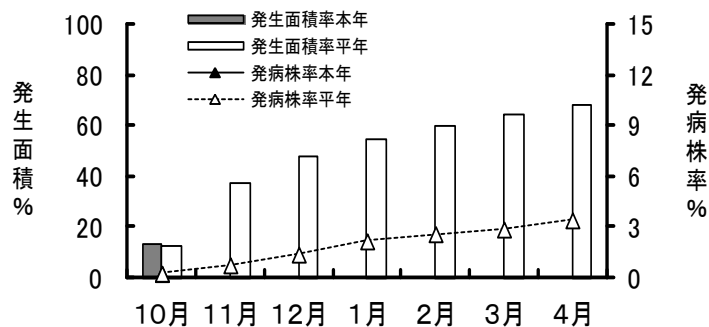


平成25年11月5日

高知県病害虫発生予察10月月報及び予報第8号(11月) 野菜類ダイジェスト版

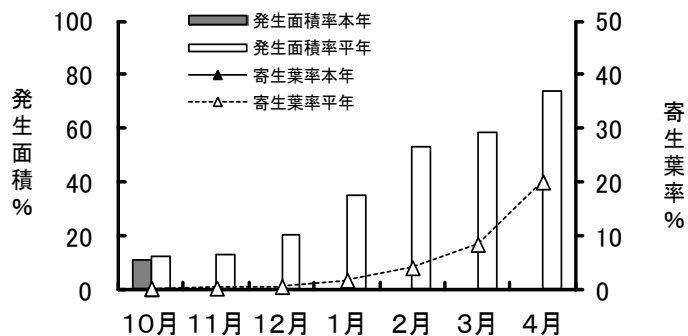
● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

黄化えそ病 発生量: 平年並



キュウリ(抑制・促成栽培)における黄化えそ病の発生推移

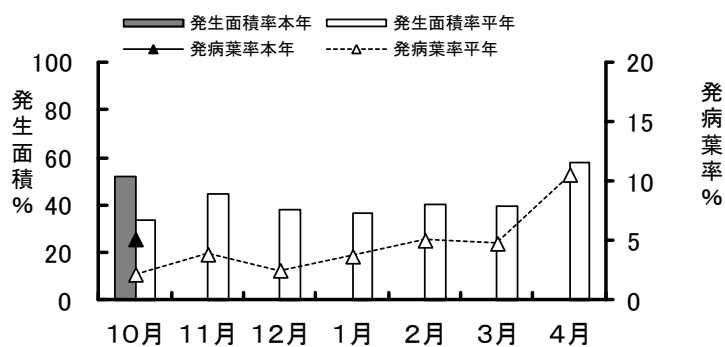
ミナミキイロアザミウマ 発生量: 平年並



キュウリ(抑制・促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

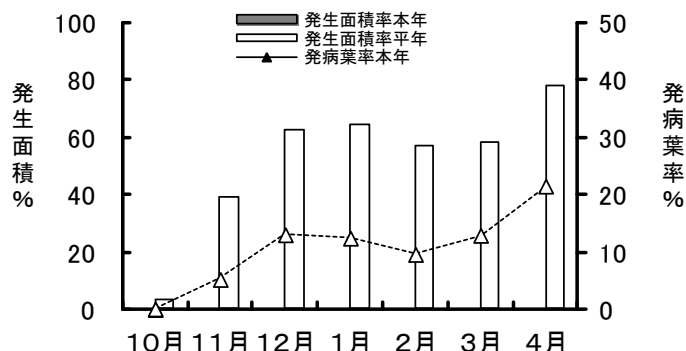
黄化えそ病の発生は高知県全域で平年並となっています。媒介虫であるミナミキイロアザミウマは県中央部でやや少、中西部で平年並となっていますが、西部では多発生となっています。発病株は伝染源となることから早期除去に努め、媒介虫の防除も徹底してください。キュウリ生長点部に寄生するミナミキイロアザミウマは発見が困難で、薬剤もかかりにくく、密度が高くなると防除が難しくなることから、初期防除を心がけてください。

うどんこ病 発生量: やや多



キュウリ(抑制・促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

べと病 発生量: 少



キュウリ(抑制・促成栽培)におけるべと病の発生推移

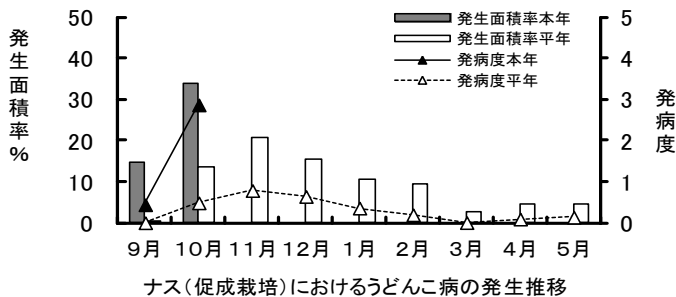
うどんこ病は県中央部で多発生、中西部、西部で少発生となっています。べと病は県全域でやや少～少発生となっています。うどんこ病、べと病ともに蔓延すると、薬剤散布による防除は困難となりますので、早めに発見して防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。

平成25年11月5日

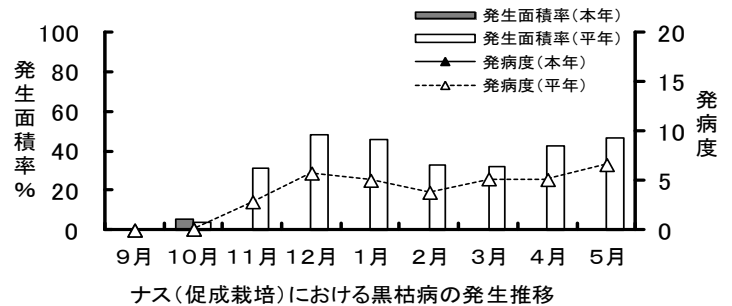
高知県病害虫発生予察10月月報及び予報第8号(11月) 野菜類ダイジェスト版

● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病 発生量:多



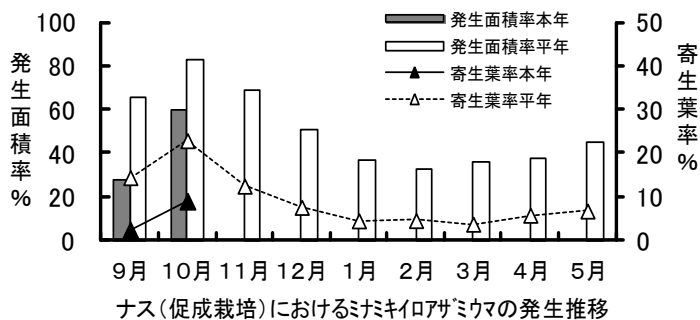
黒枯病 発生量:やや多



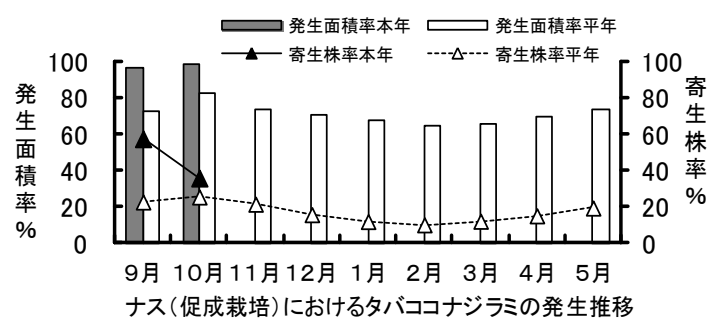
10月下旬の調査では、県東部、中央部で多発生でした。気象予報では晴天日が多いことから、今後も病勢が伸展することが考えられます。温湿度管理、草勢管理を適正に行い、発病を認めた場合には初期から薬剤防除を行いましょう。

10月下旬調査では県東部でやや多、中央部では平年並の発生でした。気象予報では晴れの日が多い予想ですが、天候次第では発病の増加が考えられます。定期の予防散布に努め、発病の初期を見逃さないように注意しましょう。

ミナミキイロアザミウマ 発生量:やや少

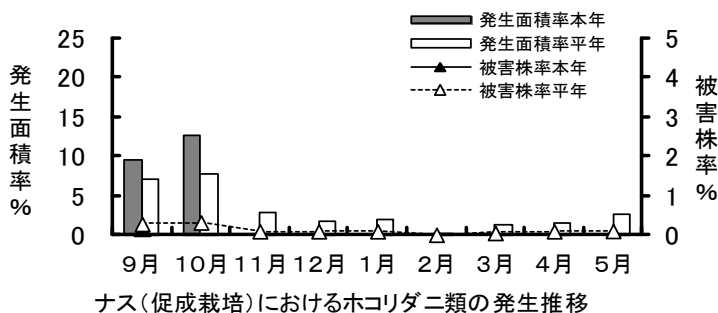


タバココナジラミ 発生量:多

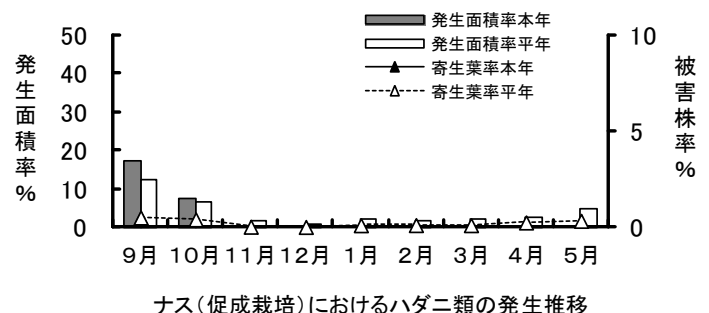


ミナミキイロアザミウマは県東部でやや少発生、中央部で平年並の発生です。タバココナジラミは、ほとんどの調査ほ場で発生が見られており、県東部、中央部ともに多発生です。特に天敵導入ハウスでは、天敵の定着が進み、両種の密度はさらに低下してくると思いますが、現在発生が多めのほ場は急激な密度増加も考えられるので、今後の発生動向に注意し、密度が高いほ場では、微生物製剤や選択性殺虫剤等での防除が必要になると思われます。

ホコリダニ類 発生量:やや多



ハダニ類 発生量:平年並



巡回調査では、県東部で平年並、県中央部と西部では多発生でした。薬剤散布により発生は減少傾向にありますが、今後も晴れの日が続くことから、発生は多めの傾向が続くと予想されます。既発ほ場では、よく発生状況を観察して、発生初期に防除するようになしてください。

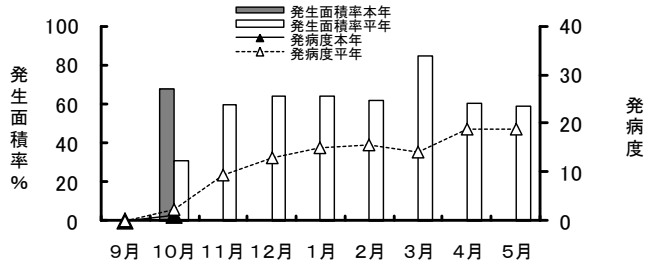
10月下旬時の調査では、県東部で平年並、中央部と西部では少発生となっています。今後も発生状況をよく観察し、初期防除に努めてください。天敵導入ハウスでは薬剤の選定に留意してください。

平成25年11月5日

高知県病害虫発生予察10月月報及び予報第8号(11月) 野菜類ダイジェスト版

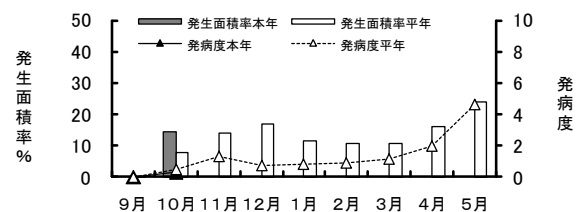
● 促成ピーマン(東部・中央部・中西部)

うどんこ病 発生量: やや多



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

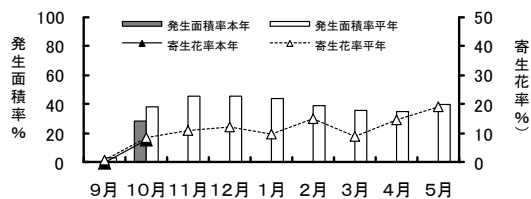
黒枯病 発生量: 平年並



ピーマン・シシトウ(促成栽培)における黒枯病の発生推移

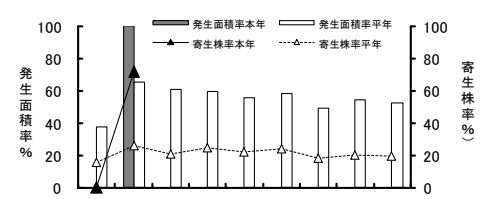
うどんこ病は県東部と中央部で多発傾向となっています。また、黒枯病は全般的には平年並の発生ですが、東部では多発傾向となっています。両病害とも蔓延すると防除が困難になるので、予防散布及び初期防除に努めてください。散布の際は下葉や葉裏へのかけ残しのないように丁寧に散布してください

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 平年並



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

タバココナジラミ 発生量: やや多

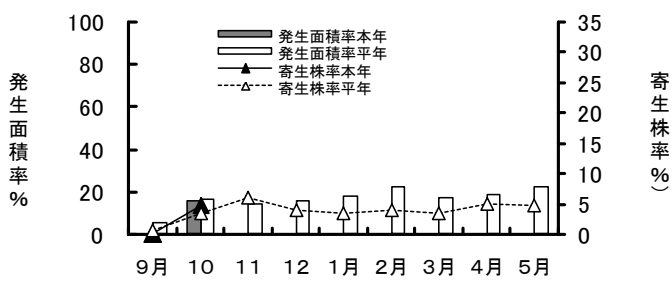


ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

県東部ではやや多発生ですが、全般的には平年並の発生となっています。天敵の定着の悪い場合には、初期防除を徹底するとともに、薬剤のローテーションを行い抵抗性の発達を回避してください。

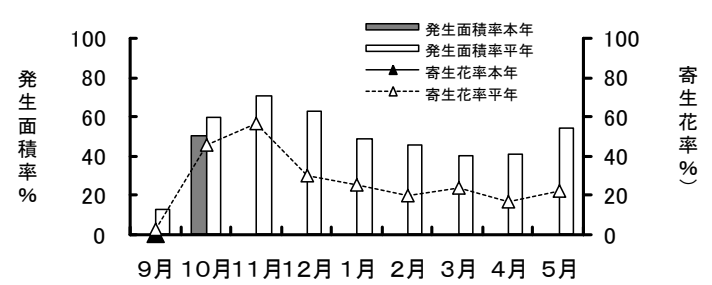
県東部を中心にやや多発生となっています。スワルスキーカブリダニの定着状況にもよりますが、成虫のみが見られる場合には、特に問題とはならないと思われます。

アブラムシ類 発生量: 多



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるアブラムシ類の発生推移

ヒラズハナアザミウマ 発生量: 平年並



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるヒラズハナアザミウマの発生推移

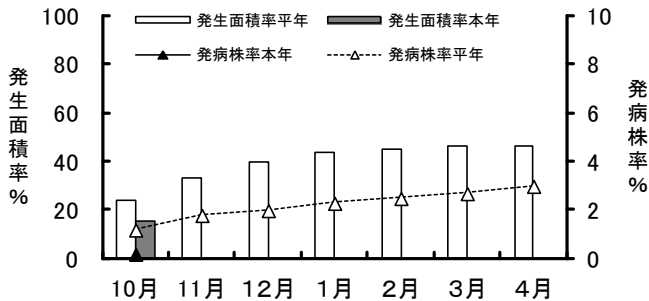
アブラムシ類は県西部以外は全般に多発傾向です。今後もその傾向が続く見込みです。ヒラズハナアザミウマは全般的に平年並の発生です。いずれも密度が高くなると防除が困難となりますので、低密度時からの防除に心がけてください。天敵導入ハウスでは、天敵の定着までは薬剤の散布は極力控え、散布する場合は影響の少ない農薬を選定しましょう。また、農薬だけでなく粘着資材等による物理的防除も実施しましょう。

平成25年11月5日

高知県病害虫発生予察10月月報及び予報第8号(11月) 野菜類ダイジェスト版

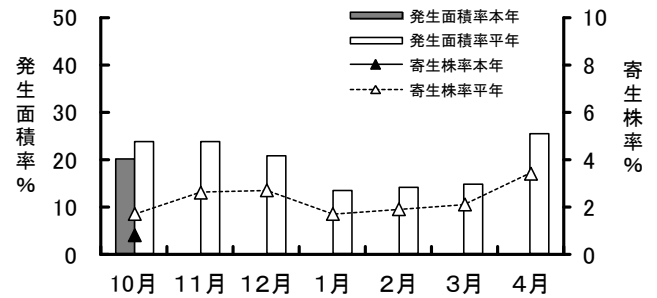
● 促成トマト(中央部)

トマト黄化葉巻病(TYLCV) 発生量: やや少



トマト(促成栽培)における黄化葉巻病の発生推移

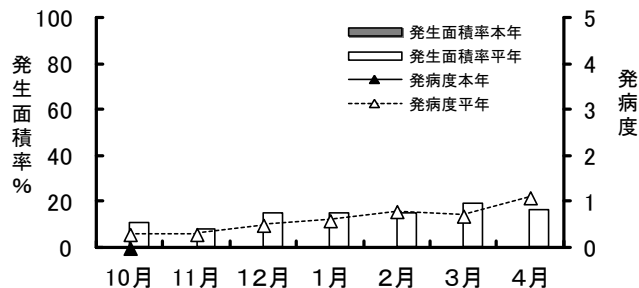
タバコナジラミ 発生量: 平年並



トマト(促成栽培)におけるタバコナジラミの発生推移

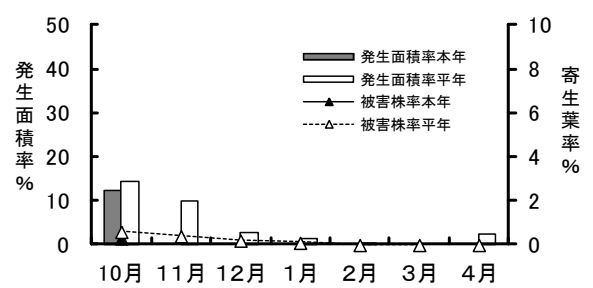
トマト黄化葉巻病の媒介虫であるタバコナジラミの発生は平年並となっていますが、巡回圃場では、黄色粘着板に誘殺された成虫を多く見かけました。トマト黄化葉巻病は平年よりやや少発生となっていますが、発病株は感染源になりますので可能な限り除去し、タバコナジラミが発生している場合は防除しましょう。また、併せて粘着資材等による物理的防除も実施しましょう。

すすかび病 発生量: 少



トマト(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

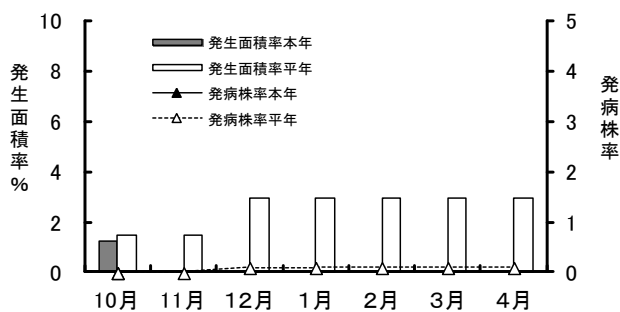
ハスモンヨトウ 発生量: 平年並



トマト(促成栽培)におけるハスモンヨトウの発生推移

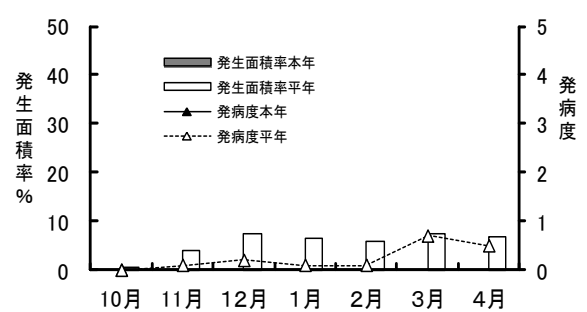
すすかび病が一部のほ場で発生しています。天候により急に拡大することがあるので注意してください。ハスモンヨトウについては平年並の発生となっています。今後も食害などが見られないか注意してください。

青枯病 発生量: 平年並



トマト(促成栽培)における青枯病の発生推移

うどんこ病 発生量: 少



トマト(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

青枯病が一部のほ場で発生しています。発生株はできるだけ早く抜き取るなど今後の発生に注意してください。うどんこ病については巡回調査ではほとんど観察されませんでしたが、蔓延すると薬剤防除が困難となりますので、早めに発見して防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。